

# 沼と植物

A . E

## 五色沼

僕は、林間学校に植物と沼を調べに行きました。

沼は五色沼の毘沙門沼や赤沼等を調べました。まず毘沙門沼は冬になると半分しか凍結しない時があるようで、その理由は、その半分には、いろいろなものが解けているので半分が凍結しにくくなっているから半分しか凍結しない不思議な光景になるようです。「冬にその半分しか凍結してない所を見に行きたいな」と思いました。次に毘沙門沼や深泥沼等の沼がどんどん陸地化していて、いずれ、毘沙門沼や深泥沼が無くなってしまふ恐れがあるそうです。「自然の物だから人が人工的にその陸地化を止めてはいけないうのだから」と話を聞き思いました。次に弁天沼は、冬になると全面氷結して沼の上を歩けるようになります。「またいつか冬になったら来てみて全面氷結した沼の上を歩いてみたい」と思いました。

次に瑠璃沼は、沼の上から見れば沼の底が見えるくらい透きとおっているようで、カモもたまにいます。「あの瑠璃沼にいたカモはどこから来たのだろうか」と思いました。



📷 写真を撮った時の  
瑠璃沼

次に赤沼は山の鉄分が溶けた水に空気が触れることで鉄分がさびて、そのさびで赤く見えるそうです。そして赤沼は、銅沼に近い性質の酸性でありレモン汁を薄めたぐらいの強さであるそうで「酸性だということは知っていたけれどもレモン汁を薄めたぐらいの強さだということは知らなかったな」と思いました。そして近年、金属イオン含有量が減少しており、色が薄くなってきているようです。「最終的に赤沼はどんな、色になるのだろう」と話を聞き思いました。そして五色沼は、不思議な色の沼が多くエメラルドグリーン等の鮮やかな色をした沼がありますがその理由は、アロフェンと呼ばれるガラスの原料であるケイ酸アルミニウムを多く含んでいるそうで「沼からガラスの原料がと

れるのか」と思いました。沼の色は、季節や天気によって微妙に変化するそうです。

## アマタケ・テングタケ



そしてもう一つ見つけたキノコは、アマタケというキノコで、テングタケのように毒キノコじゃなく食べられるキノコだそうです。そしてゆでるとキノコが紫色になるそうで「食べられるキノコだけど食べたくない色に変わるな」と思いました。

そして沼の周りを歩いている時に見つけたテングタケは、点々がついたキノコでとても毒が強く、人が二人死ぬぐらい強く恐ろしいキノコです。点々がついている理由は、小さいキノコの時、膜が張っており大きくなって膜が割れた時にできるそうです。こんな、人が二人も殺せる恐ろしいキノコですが水につけておくとハエがきて防虫剤の役目を果たす便利な毒キノコで「毒キノコも使えようでは、便利なものになるのだな」と思いました。



## 雄国沼

次に雄国沼は昔、水田を作るためにトンネルを掘り水田と雄国沼をつなげました。そして、水田の水量をちょうどよく調節するために雄国沼に水門があり今でもその水門があります。「水田と雄国沼はつながっていたのか」と話を聞いて思いました。そして雄国沼の木道は、数十年に一度作り直すようです。「木道をいくら直しても数十年でだめになってしまうのか」とその話を聞いて思いました。

そして、雄国沼に着く前に見つけたブナの木は、二百年をむかえる大きなブナだと知りました。ブナの木は太さを見ればどれくらいの樹齢かが分かること聞いて「どうして太さを見ただけで樹齢が分かるのだろうか、僕が見ても全然分からない」と思いました。

次に山ブドウのつるを見つけ見た時は「どうしてこんな風に直接大きな木にぶら下が

っているのだろう」と思いました。山ブドウのつるは、小さい時に、小さい木に絡みついて、どんどん大きな木に絡みついていって大きくなるのですが、大きくなってから成長の途中で絡みついた木が何らかの原因で無くなってしまったらしく、直接大きな木にぶら下がっているように見えたのが理由だそうです「直接大きな木にぶら下がっていたわけではなくて途中で絡みついていた木が無くなってしまったからぶら下がっているように見えたのか」と思いました。

そして、雄国沼の途中の登山道では、裸地化が進んでおり普通ではありえない根っこが出てきてしまっていることが問題になっているようです。登山道を歩けばこのような問題は起きないのですが、ショートカットをしたりする人が出てきたので、登山道以外の場所でも裸地化が進んでしまっているそうです。そして、ショートカットをする人達の対策として、ショートカットができないようにロープを張って通れないようにしているそうです。

## トリカブト

そして、雄国沼へ歩いているときに見つけたトリカブトという植物は、すごく強い毒



を持っていて何人も殺せるほど強いらしく、「テングタケでも強いのに、もっと強い毒があるトリカブトは何の使い道もないだろう」と思いましたが、でも使い道はあるようで漢方薬に使われているそうです。「こんなに強い毒があるトリカブトを、漢方薬に使って死んでしまわないのか」と思いました。そして、トリカブトを育てるのは犯罪で、育ててはいけないそうで「普通に、こんな何人も殺せる植物を育てたらいけないのは、当たり前だろう」と思いました。

そして今回の林間学校では、とても多くのことを学べたなと思いました。今まで名前だけしか知らなかった植物や沼等を実際に見に行き写真で見ている時と違うように見えて、「実際に見るのが一番いいな」と植物や沼を見てきて思いました。そして、実際に見てきて前よりも植物や沼について詳しく知ることができよかったです。